注3

大学番号:私02

[平成24年度設置]

計画の区分:学部の学科の設置

注1



東北工業大学 工学部 環境エネルギー学科 注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東北工業大学 平成27年5月1日現在

作成担当者

法人本部事務局 (総務企画課)

総務企画課長 定田 美智子

電話番号 022-305-3314

(夜間) 022-305-3300

F A X 022-305-3313

e —mail hikita@tohtech.ac.jp

大学事務局 (教務学生課)

教務学生課長 対 ニュウジー 裕二

電話番号 022-305-3126

(夜間) 022-305-3300

F A X 022-305-3163

e —mail ymeguro@tohtech.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「 $\bigcirc\bigcirc$ 短期大学 $\triangle\triangle$ 学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- ※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況 報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

1.	調査対象大	学等の	既要等	•	• •	•	• •	•	• •	• •	• •	•	•	• •	•	•	•	•	1
2.	授業科目の	概要	• • •	• •	• •	•	• •	•	• •	• •	• •	•	•	• •	•	•	•	•	5
3.	施設•設備	の整備場	犬況、	経費	•	•	• •	•	•	• •	• •	•	•	• •	•	•	•	•	11
4.	既設大学等	の状況	• •	• •	• •	•	• •	•	•	• •	• •	•	•		•	•	•	•	13
5.	教員組織の	状況	• • •	• •	• •	•	• •	•	• •	• •	• •	•	•	• •	•	•	•	•	16
6.	留意事項等	に対する	3履行	状況	等	•	• •	•	• •	• •	• •	•	•	• •	•	•	•	•	26
7.	その他全般	的事項	• •	• •	• •	•	• •	•	• •	• •	• •	•	•	• •	•	•	•	•	27
	• 別紙 1	FD委員	員会規	程	• •	•	• •	•	• •	• •		•	•	• •	•	•	•	•	30
	• 別紙2	設置の起	函旨•	目的	の道	≦成	状污	こに	関す	する	総括	5評	価	• 所	ī見		•	•	32

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人東北工業大学

- (2) 大 学 名 東北工業大学
- (3) 大学の位置

〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変 更 状 況	備考
理事長			
学長	(サワダ ヤスジ) 沢田 康次 (平成20年4月)	(ミヤギ ミツノブ) 宮城 光信 (平成25年4月)	任期満了のため 平成25年4月1日(25)
学 部 長	(ウェスギ ナオシ) 上杉 直 (平成22年4月)	(ワタナベ ヒロノリ) 渡邉 浩文 (平成26年4月)	人事異動に伴う変更 平成26年4月1日(26)
学科長等	(イイヌマ コウイチ) 飯沼 恒一 (平成24年4月)	(ミヤモト ユウイチ) 宮本 裕一 (平成24年4月)	人事異動に伴う変更 平成24年4月1日(24)

- (注)・「変更状況」は,変更があった場合に記入し,併せて「備考」に変更の理由と変更年月日,報告年度を
 - ()書きで記入してください。
 - (例) 平成 2 5 年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ 様式は、平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合 には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の		設 置 時	の計画		備	考
名称 (学位)	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1/19	75
工学部 環境エネルギー学科 学士 (工学)	4	100	年次 人 -	人 400		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。 ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- (5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

× ×	対象年度分		4年度		5 年度		6年度 その他の学期	平成2	7年度	平均入学定員 超 過 率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定 員超過率	備る	考
А	入学定員	100人 10 (- [-	入 00 -) -]		入 00 -) -]		人 00 -) -]		人 00 -) -]		REAT		
	志願者数	252 (-) [-]	()	198 (-) [-]	() []	311 (-) [-]	()	335 (-) [-]	()				
	受験者数	247 (-) [-]	() []	194 (-) [-]	()	307 (-) [-]	() []	333 (-) [-]	() []	0. 69倍	- 倍		
	合格者数	190 (-) [-]	() []	125 (-) [-]	() []	203 (-) [-]	() []	223 (-) [-]	() []				
	3 入学者数	84 (-) [-]	() []	63 (-) [-]	()	61 (-) [-]	() []	69 (-) [-]	() []				
ک	、学定員超過率 B/A	0.	84	0.	63	0.	61	0.	69				

- (注)・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ () 内には、編入学の状況について<u>外数で</u>記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 - ・「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学 (「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	平成2	4 年度	平成2	5 年度	平成 2	6 年度	平成2	7年度	備考
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
1 年次	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	85	-	63	-	61	-	69		
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
2年次	/		(1)	(-)	(1)	(-)	(8)	(-)	
			84	-	68	-	68	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	
3年次	/				(1)	(-)	(1)	(-)	1年次に転学科の学生1名 含む (24)
					75	-	55	-	
							[-]	[-]	
4 年次	/						(-)	(-)	
							74	-	
	[0]	[(0]	[()]	[(0]	
計	(-)	(1)	(:	2)	(9)	
	8	15	14	47	20)4	2	66	

- (注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退当	学者数(内訳))	主な退学理由	入学者数に 対する退学者数
対象年度			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		の割合 (a/b)
			平成24年度	2 人	人	他の教育機関への入学(1人)、学力不足(1人)	
平成24年度	84 人	8 人	平成25年度	4 人	人	学力不足(1人)、就学意欲の低下(1人)、 就職(2人)	0.1 %
入学者	04 X	0 X	平成26年度	2 人	人	学力不足(1人)、就学意欲の低下(1人)	0.1 70
			平成27年度	0 人	人		
			平成25年度	0 人	人		
平成25年度 入学者	63 人	2 人	平成26年度	2 人	人	就学意欲の低下(1人)、家庭の事情(1人)	0.0 %
			平成27年度	0 人	人		
平成26年度	61 人	1 人	平成26年度	1 人	Д	就学意欲の低下(1人)	0.0 %
入学者	01 人	1 \	平成27年度	0 人	人		0.0 %
平成27年度 入学者	69 人	0 人	平成27年度	0人	Д		0.0 %
合 計	277 人	11 人					0.0 %

- (注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要は</u>ありません。)
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 環境エネルギー学科>

(1) 授業科目表

(環境エネルギー学科 エコロジーコース)

科目			配当	 		_{人)} 単位数	ţ				専任教	教員:	等の	の配	置		Ī						
区分	1	授業科目の名称	年次	必		選択		由	教	授	准教授					助	£		備		ā	考	
		現代社会論	1前			2												兼 1					
		情報化社会の経済	1後			2												兼 1					
	١	市民と法	2前			2												兼 1					
		市民と政治	2後			2												兼 1					
	性	暮らしと心理学	2前			2												兼 1					
		産業社会と心理学	2後			2											j	兼 1					
		日本近代史	2後			2											j	兼 1					
		日本国憲法	3前			2												兼 1					
		現代思想と科学	2後			2											į	兼 1					
		技術と人間	3前			2												兼 1					
	性	現代の倫理	3後			2											į	兼 1					
		現代の哲学	4前			2											į	兼 1					
		表象文化論	1前			2											į	兼 1					
	文化	メディア文化論	1後			2											į	兼 1					
	性	日本文化史	3前			2											į	兼 1					
		文化の諸相	3後			2											į	兼 2					
		現代科学総論A	3前			2			4			1						オム	ニバス、授	業科目の	充実を図	り担当教員	と増員(27)
	カ	現代科学総論B	3後			2			4		1							オム	ニバス、授	業科目の	充実を図	り担当教員	と増員(27)
	人間	日本語表現	1後			2												兼 1					
	力	ビジネスマナー	3前			2											į	兼 1					
		英語IA	1前	2														兼 2					
		英語IB	1後	2														兼 2					
教 養 教		英語Ⅱ A	2前	2	2													兼 2					
教		英語ⅡB	2後	2	2													兼 2					
育科		英会話A	1前			1											j	兼 1					
目		英会話B	1後			1											į	兼 1					
		資格英語A	2前			1											j	兼 1					
		資格英語B	2後			1												兼 1					
	١.	フランス語A	1前			2											į	兼 1					
	表現	フランス語B	1後			2												兼 1					
	カ	ドイツ語A	1前			2												兼 1					
		ドイツ語B	1後			2											j	兼 1					
		韓国語A	1前			2											j	兼 1					
		韓国語B	1後			2											j	兼 1					
		中国語A	1前			2												兼 1					
		中国語B	1後			2												兼 1					
		フランス語演習	2前			1											j	兼 1					
		ドイツ語演習	2前			1											j	兼 1					
		韓国語演習	2前			1												兼 1					
		中国語演習	2前			1												兼 1					
		スポーツ実技 I	1前			1												兼 6					
		スポーツ身体科学	1後			1											Ē	兼 6					
	健																	8					
	康																					当教員を地	
		スポーツ実技Ⅱ	2前			1												兼 5 授業	美科目の充	実を図	1り、担	当教員を均	曾員 (26)
		健康論	2後			2											j	兼 3					
		特別課外活動I	1前~4後			2																	
	際	特別課外活動Ⅱ	1前~4後			2																	

科目		配当		単位数	ζ			専任教	0 員等	の配置		T		J#+ ++
区分	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	教	授	准教授	講師	助教	助 引	F		備 考
	数学への旅	1前	2			1								
	化学への旅	1前	2					1						
	物理への旅	1前	2			1		1	1			用	ŧΙ	授業科目の充実を図り、担当教員を増員(26)
	エネルギー概論 生命への旅	1前 1前	2			1		1 1						
	生命への派	ניפן י						ı						担当教員の昇任のため 担当:小祝慶紀(教授)
						2	,							担当教員の昇仕のため 担当: 小优慶和 (教授) 授業科目の充実を図り、担当教員を変更(26)
						1								担当教員の定年退職により、職種変更
	環境問題诵論	1前	2			2		1	1) j	₹1	授業科目の充実を図り、担当教員を増員(25)
	JOING ALL ALIM											"	•	
	Web技術入門	1前	2					1						
														担当教員の昇任のため 担当:小祝慶紀(教授)
						6								平成26年度4月新規採用のため担当者の増員(26)
						5		5						平成25年5月
	環境・エネルギーセミナー	1前	1			6	•	7	2					採用予定者辞退のため、1名減員(25)
	基礎化学	1後	2			١,						用	₹ 1	
	歩 田 当	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2			1 2						4	. 1	也少数是 。 克尔思勒尼克耳,勒廷杰克(05)
	物理学 微分積分学 I	1後 1後	2			1								担当教員の定年退職により、職種変更(25) 担当教員の定年退職により、職種変更(25)
	(収分値分字 I 生態学基礎	1後	2			†	-						ŧ 1 ₹ 1	コニコ玖貝のた牛巡戦により、職性変更(25)
	工心丁坐陇	- 交	_									1	١ .	担当教員の昇任のため 担当:小祝慶紀(教授)
						6	3							平成26年度4月新規採用のため担当者の増員(26)
						5		5						平成25年5月
	環境科学総論	1後	2			6	}	7	2					採用予定者辞退のため、1名減員(25)
	環境ビジネス	1後	2			2	2							
	プログラミング及び同演習 I	1後	3			1		1						担当教員の昇任のため 担当:穴澤正宏(教授) (H26)
	代数・幾何	2前	2									兼	₹ 1	
	環境生物学	2前	2					1						
	地域環境計画及び同演習	2前	3					1				١.		
	地域環境調査法	2後	2			1		1						授業科目の充実を図り、担当教員を増員(26) (27)
専	コンピュータシステム	2後	2					4	1			1		授業科目の充実を図り、担当教員を増員(26)
専 門 教	基礎化学実験	2後	2					1 1				用	₹ 2	実験の充実を図り、担当教員を増員(25)
育 科	環境マネジメント及び同演習	2後	3			1		1 2						担当教員の昇任のため 担当:小祝慶紀(教授) (H26)
目	環境 マインアンド及び回演日	212	٥			2		1						担当教員の昇任のため担当:小祝慶紀(教授)
	地域環境調査実習	3前	2			2		2	1					平成26年度4月新規採用のため担当者の変更(26)
	保全生態学	3後	2			-	-	4				Ħ	₹ 1	時間割編成上のため、担当者の変更(25)
	環境経営学	3後	2			1		4				1	-	担当教員の昇任のため 担当:小祝慶紀(教授) (H26)
								5						
	環境・エネルギー研修 I	3後	1			6	6	7	2					時間割編成上のため、担当者の変更(26)
								5						
	環境・エネルギー研修Ⅱ	4前	3			6	6	7	2					時間割編成上のため、担当者の変更(27)
			_					5						
	環境・エネルギー研修Ⅲ	4後	3			6		7	2					時間割編成上のため、担当者の変更(27)
	ᄯᆓᇓᆈᆚᇫᇴᆉᅩ	1 14		,		1		1						担当教員の昇任のため 担当:小祝慶紀(教授) (H26)
	循環型社会形成論 エネルギー各論	1前 1後		2 2		1		1						授業科目の充実を図り、担当教員を増員(25)
	地理情報システム	2前		2		Ι'		1						
	で生まれてハノム	נים -		-									2	
	基礎物理実験	2前		2								兼		実験の充実を図り、担当教員を増員(26)
	地球環境科学	2前		2		1						1		
	プログラミング及び同演習Ⅱ	2前		3		1			1					授業科目の充実を図り、担当教員を増員(26)
	無機化学	2前		2								萧	₹ 1	
	統計学	2後		2								兼	₹ 1	
	地域環境情報	2後		2				1	1					時間割編成上のため、担当者の変更(26)
	有機化学	2後		2				1						
	大気環境工学	2後		2		1								
	エネルギー変換工学	2後		2		1		4					÷ ^	
	エコデザイン	3前		2				1				∄	ŧ 2	授業科目の充実を図り、担当者の変更(26)
	アルゴリズム コンピュータネットワーク I	3前		2				1	1					吐明刺煙ボレのもは、 セッキュキョンハ
	コンヒュータネットワーク エネルギーデバイス工学	3前 3前		2		1 1			'			4	<u>:</u> 1	時間割編成上のため、担当者の変更(26) 時間割編成上のため、担当者の変更(26)
	エポルモーナハイ人工子	O테				†	-	5				#	ς Ι	可
	環境・エネルギー基礎研修	3前		1		6	,	7	2					時間割編成上のため、担当者の変更(26)
	水環境工学	3前		2		1		'	-			#	∓ 1	退職により、職種変更 (H26)
	環境関係法	3前		2		1								時間割編成上のため、担当者の変更(26)
	水元内 小仏	נימי			1	<u> </u>			<u> </u>	Ĭ	<u> </u>	계	, т	- ハーロカロのエンにの、 ニコロの友文(20)

科目区分	哲学到 ロ の 名 む	配当		j	単位	数					専任教	変員	等の	の西	置5				備	者
区分	授業科目の名称	年 次	必	修	選	択	自	由	教	授	准教授	講	師	助	教	助	手		1/用	有
	エネルギー制御工学	3前			2					1										
	再生可能エネルギー	3前			2					1										
	電気化学	3前			2						1									
																			授業科目の充実を	図り、担当教員を増員
	統計解析	3後			2					1	1							兼 1	担当教員の昇任のため 担	当:小祝慶紀(教授)(H26)
	環境応用数学	3後			2					1	1								担当教員の昇任のため 担	当:穴澤正宏(教授)(H26)
	データベース	3後			2													兼 1		
	環境リモートセンシング	3後			2					1		1							平成26年度4月新規採	用のため担当者の変更(26)
直										2										
専門教育科目	環境市民活動論	3後			2					1	1								担当教員の昇任のため 担	当:小祝慶紀(教授) (H26)
教育	コンピュータネットワークⅡ	3後			2					1		1							平成26年度4月新規採	用のため担当者の変更(26)
科	CAD技術	3後			2													兼 1		
l l	スマートグリッド	3後			2					1								兼 1	授業科目の充実を図	り、担当教員を増員(26)
	資源循環工学	4前			2					1										
	ヒューマンエコロジー	4前			2						1							兼 1	平成25年度新規	採用教員に変更(25)
	環境アセスメント	4前			2					1								兼 1	時間割編成上のた	め、担当者の変更(27)
	環境・エネルギー特別課外活動Ⅰ	1前~4後			2															
	環境・エネルギー特別課外活動Ⅱ	1前~4後			2															
	他コース開講科目群	3前~4後			10)														
	他学科開講科目群	1後~4後			4															
	他大学開講科目群	1後~4後			4															

(環境エネルギー学科 エネルギーコース)

科目			配当	ΙĪ	_,	単位数	ţ				専任教	女員:	等(の配	置				/# 72
区分	}	授業科目の名称	年次	必	修	選択	自	由	教	授	准教授	講	師	助	教	助	手	1	備 考
		現代社会論	1前			2												兼 1	
		情報化社会の経済	1後			2												兼 1	
		市民と法	2前			2												兼 1	
	社会	市民と政治	2後			2												兼 1	
	性	暮らしと心理学	2前			2												兼 1	
		産業社会と心理学	2後			2												兼 1	
		日本近代史	2後			2												兼 1	
		日本国憲法	3前			2												兼 1	
		現代思想と科学	2後			2												兼 1	
	l H	技術と人間	3前			2												兼 1	
	性	現代の倫理	3後			2												兼 1	
		現代の哲学	4前			2												兼 1	
		表象文化論	1前			2												兼 1	
	文化	メディア文化論	1後			2												兼 1	
	性	日本文化史	3前			2												兼 1	
40		文化の諸相	3後			2												兼 1	
教養	=	現代科学総論A	3前			2			4			1							オムニバス、授業科目の充実を図り担当教員を増員(27)
養教		現代科学総論B	3後			2			4	-	1								オムニバス、授業科目の充実を図り担当教員を増員(27)
育科	人間	日本語表現	1後			2												兼 1	
目	力	ビジネスマナー	3前			2												兼 1	
		英語IA	1前	2														兼 2	
		英語IB	1後	2														兼 2	
		英語 II A	2前	2														兼 2	
		英語IIB	2後	2														兼 2	
		英会話A	1前			1												兼 1	
		英会話B	1後			1												兼 1	
	±	資格英語 A	2前			1												兼 1	
	表現	資格英語 B	2後			1												兼 1	
	カ	フランス語A	1前			2												兼 1	
		フランス語B	1後			2												兼 1	
		ドイツ語 A	1前			2												兼 1	
		ドイツ語B	1後			2												兼 1	
		韓国語A	1前			2												兼 1	
		韓国語B	1後			2												兼 1	
		中国語A	1前			2												兼 1	
		中国語B	1後			2												兼 1	

科目区分		配当年次		単位数				女員等 <i>(</i>				 備 考
E-71	<u></u> フランス語演習	2前	必修	選 択	自由	教 授	准教授	講師	助 教	助手	兼 1	
	ドイツ語演習	2前		1							兼 1	
	韓国語演習	2前		1							兼 1	
	中国語演習	2前		1							兼 1	
-	スポーツ実技 I	1前		1							兼 6	
	スポーツ身体科学	1後		1							兼 6	
		11/2		'							水 0 8	
	康										7	授業科目の充実を図り、担当教員を増員(27)
	スポーツ実技 Ⅱ	2前		1								授業科目の充実を図り、担当教員を増員(27) 授業科目の充実を図り、担当教員を増員(26)
	健康論	2後		2							兼 5	技条件日の元美を図り、担ヨ教員を増員(20)
-		1前~4後		2							兼 3	
	学 特別課外活動 I 際 特別課外活動 II	1前~4後		2								
	数学への旅	1前	2	Z		1						
	数字への旅 化学への旅	1前	2			'	1					
	物理への旅	1前	2				'	1			並 1	授業科目の充実を図り、担当教員を増員(26)
	エネルギー概論	1前	2			1	1	'			יאגי	及来得自00元天之四7、正当获兵之省民(20)
	生命への旅	1前	2			l '	1					
	王明 100派	נימי					'					担当教員の昇任のため 担当:小祝廖紀(教授)
						2						担当教員の昇任のため 担当: 小杭慶和 (教授) 授業科目の充実を図り、担当教員を変更(26)
						1						授業科目の元美を図り、担当教員を変更(20) 担当教員の定年退職により、職種変更
	環境問題通論 環境問題通論	1前	2			+ 2	4	1			兼 1	
	^{块 現的超速調 Web技術入門}	1前	2				1	'			≯	X 木付口 W ル大で回り、担当教員で増具(20)
	ucntX [n] 人[i]	(Bij	۷.				'					担当教員の昇任のため 担当:小祝慶紀(教授)
						6						
						5	_					平成26年度4月新規採用のため担当者の増員(26)
	理体 チャッギ レンエ	1 44	1			0	5 7	0				平成25年5月
	環境・エネルギーセミナー 基礎化学	1前	1 2			0	+	2			** 1	採用予定者辞退のため、1名減員(25)
	基礎化子	1後	2								兼 1	
	#£ 700 224	1.44	0			1						
	物理学	1後	2			2						担当教員の定年退職により、職種変更(25)
	微分積分学 I	1後	2			4					兼 1	担当教員の定年退職により、職種変更(25)
	生態学基礎	1後	2								兼 1	
												担当教員の昇任のため 担当:小祝慶紀(教授)
						6	_					平成26年度4月新規採用のため担当者の増員(26)
			_			5	5	_				平成25年5月
	環境科学総論	1後	2			6	7	2				採用予定者辞退のため、1名減員(25)
	環境ビジネス	1後	2			2						
	プログラミング及び同演習 I	1後	3			1	1					担当教員の昇任のため 担当:穴澤正宏(教授) (H26)
専門	代数・幾何	2前	2								兼 1	
教	微分積分学Ⅱ	2前	2			1	1					担当教員の昇任のため 担当:穴澤正宏(教授) (H26)
育 科	電磁気学及び同演習	2前	3			1	1					授業科目の充実を図り、担当教員を増員(26)
=	無機化学	2前	2								兼 1	
	コンピュータシステム	2後	2					1			兼 1	授業科目の充実を図り、担当教員を増員(26)
	基礎化学実験	2後	2				1				兼 2	実験の充実を図り、担当教員を増員(25)
	電気回路及び同演習	2後	3				1	1				授業科目の充実を図り、担当教員を増員(26)
	エネルギー変換工学	2後	2			1						
	電気化学	3前	2				1					
						4						
						3			1			時間割編成上のため、担当者の変更(27)
	エネルギー工学実験	3前	2			4		1				時間割編成上のため、担当者の変更(26)
							5					
	環境・エネルギー研修 I	3後	1			6	7	2				時間割編成上のため、担当者の変更(26)
	環境・エネルギー研修Ⅱ	4前	3			6	7					
	環境・エネルギー研修Ⅲ	4後	3			6	7					
						2						担当教員の昇任のため 担当:小祝慶紀(教授) (H26)
	循環型社会形成論	1前		2		1	1					授業科目の充実を図り、担当教員を増員(25)
	エネルギー各論	1後		2		1						
	地理情報システム	2前		2			1					
											2	
	基礎物理実験	2前		2							兼 4	実験の充実を図り、担当教員を増員(26)
	地球環境科学	2前		2		1						
	プログラミング及び同演習Ⅱ	2前		3		1		1				授業科目の充実を図り、担当教員を増員(26)
	地域環境調査法	2後		2		1	1					授業科目の充実を図り、担当教員を増員(26)
	統計学	2後		2							兼 1	
	地域環境情報	2後		2			1	1				時間割編成上のため、担当者の変更(26)
	IMA 11 MA	2後		2	Ī		1					
	有機化学	- 12										

科目		配当		単位数	女			専任教	负員等	σ.	配置	雪				備 考
区分	授業科目の名称	年 次	必修	選折	自	由	教 授	准教授	講館	师 .	助	枚	助	手		1佣 考
	再生可能エネルギー	3前		2			1									
	エコデザイン	3前		2				1							兼 2	授業科目の充実を図り、担当者の変更(26)
	アルゴリズム	3前		2				1								
	コンピュータネットワーク I	3前		2			1		1							時間割編成上のため、担当者の変更(26)
	エネルギーデバイス工学	3前		2			1								兼 1	時間割編成上のため、担当者の変更(26)
								5								
	環境・エネルギー基礎研修	3前		1			6	7	2							時間割編成上のため、担当者の変更(26)
	水環境工学	3前		2			1								兼 1	退職により、職種変更 (H26)
	環境関係法	3前		2			1								兼 1	時間割編成上のため、担当者の変更(26)
	エネルギー制御工学	3前		2			1									
	保全生態学	3後		2				1							兼 1	時間割編成上のため、担当者の変更(25)
	環境経営学	3後		2			1	1								担当教員の昇任のため 担当:小祝慶紀(教授) (H26)
																授業科目の充実を図り、担当教員を増員
専 門 教	統計解析	3後		2			1	1							兼 1	担当教員の昇任のため 担当:小祝慶紀(教授) (H26)
教	環境応用数学	3後		2			1	1								担当教員の昇任のため 担当:穴澤正宏(教授) (H26)
育科目	データベース	3後		2											兼 1	
目	環境リモートセンシング	3後		2			1		1							平成26年度4月新規採用のため担当者の変更(26)
							2									
	環境市民活動論	3後		2			1	1								担当教員の昇任のため 担当:小祝慶紀(教授) (H26)
	コンピュータネットワークⅡ	3後		2			1		1							平成26年度4月新規採用のため担当者の変更(26)
	CAD技術	3後		2											兼 1	
	スマートグリッド	3後		2			1								兼 1	授業科目の充実を図り、担当教員を増員(26)
	資源循環工学	4前		2			1									
	ヒューマンエコロジー	4前		2				1							兼 1	平成25年度新規採用教員に変更(25)
	環境アセスメント	4前		2			1								兼 1	
	環境・エネルギー特別課外活動Ⅰ	1前~4後		2												
	環境・エネルギー特別課外活動Ⅱ	1前~4後		2												
	他コース開講科目群	3前~4後		10												
	他学科開講科目群	1後~4後		4												
	他大学開講科目群	1後~4後		4												

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 設置認可時の授業科目全て(兼任,兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で,前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し,「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任,兼担の教員が担当する授業科目については,備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合 には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可 以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

(環境エネルギー学科 エコロジーコース)

	設	置	時(のほ	H [回		刻	3	更	4	犬	況		備	考
必	修	選	択	自	由	計	必	修	選	択	自	由		計	VĦ	75
	科目		科目		科目	科目		科目		科目		科目	1	科目		
	32		80		0	112		32		80		()	112		
						112	[(]	[0]	[0]	[0]		

(環境エネルギー学科 エネルギーコース)

	設置時の計画							変	5	更	ł	伏	3	7	備	考
必	修	選	択	自	由	計	必	修	選	択	É	1 #	b	計	VĦ	4 5
	科目		科目		科目	科目		科目		科目		科	目	科目		
	32		80		0	科目 112		32		80			0	112		
							[(]	[0]	[0]	[0]		

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
 - 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	_	0.00
設置時の計画の授業科目数の計	112	_	0.00

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区 分			Þ	4			容			備考
(1)	区 分		専	用	共	用		共用する他の 学校等の専用		計	新クラブ棟建設に伴
	校 舎 敷 地			214, 781. 44m 213, 877m 210, 782m	2 -	0m²		()m [‡]	214, 781. 44 213, 877 210, 78 2	m (20)
校	運動場用地			55, 942m 59, 037m		0m²		()mî	55, 942 59, 037	1 +c++ A += n + 1 +
地	小計			270, 723. 44m 269, 819m		0m²		()mi̇̃	270, 723. 44 269, 819	m
等	その他			0 m		0m²		()m²		借用面積 85.22㎡ 借用期間 20年間
	合 計			270, 723. 44m 269, 819m		0m²)m [†]	270, 723. 44 269, 819	
			専	用 62, 557, 94m	共	用		共用する他の 学校等の専用		計 62, 557. 94	新クラブ棟設立のため ㎡ (27)
(2) 校	舎	-	(62, 557. (62, 061. (62, 915. (61, 584.	62, 061, 08m 62, 915, 36m 61, 584, 61m 94m) 08m) 36m)	2 - - -	0 m²)	(0 m ³)	-(6)	60 061 00	が 新クラブ棟建設に伴
		講義			習 室	実験実習	室	情報処理学習		語学学習施設	大学全体
											一地域連携センターの移設等に伴い情報処理学習施設の使用用途を更したため(27)学生の修学環で登場である。 学生の実験変更したため (27)学生の影響である。
(3) 教	室 等	等 51 4 8 4 9		室 19	21 1 9 室	141 143 142	141 室	8 (補助職員 0	9 室 4人) (补	1 補助職員 0人)	(26) 新校舎設立により教室を増加しまた。学生
											学生の修学環境整備の ため教室等の使用用途 を変更したため (24)
				新設学部等	の名称			室	*	数	数員の人事異動のため
(4) 専	任教員研究室	環境エイ	ネルギー学	单科				13 4	2 13	室	(26) 教員の人事異動のため (25)
	14-7 W 1911	図	書	学徒	 行雑誌		•	視聴覚資料	機械・器具	具 標 本	
(5)	新設学部等 の名称	[うち外	、国書〕		外国書〕	電子ジャー					
	環境エネルギー	247, 83 242, 75 237, 29	51 (55, 37 30 (54, 96 50 (54, 90 98 (54, 56 77 (53, 86	1, 12) 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,	種 759〔603〕	[うち外国]	点 3, 453 3, 397 3, 318 3, 295 3, 257		点	点 図書等補充整備のため (27) 大学全体で共用分 図書249,986冊 学術雑誌1,759種 図書等補充整備のため
図書・設	学科	(247, 500 (242, 255 (236, 323	6 (55, 353 0 (54, 925 5 (54, 848 3 (54, 465 7 (53, 794	(1, 75 (1, 75	9 (603))	([))	(3, 453) -(3, 397) -(3, 318) -(3, 295) -(3, 257)			(26) 大学全体で共用分 図書247,500冊 学術雑誌1,759種 図書等補充整備のため (25) 大学全体で共用分
備	ŝl	247, 83 242, 75 237, 29	51 (55, 37 30 (54, 96 50 (54, 90 98 (54, 56 77 (53, 86	1, 12) 1, 1, 17)	759 (603)	()	3, 453 3, 397 3, 318 3, 295 3, 257			図書242,255冊 学術雑誌1,759種 図書等補充整備のため (24) 大学全体で共用分 図書232,442冊
	81	(247, 500 (242, 255 (236, 323	6 (55, 353 0 (54, 925 5 (54, 848 3 (54, 465 7 (53, 794	(1, 75	9 (603))	([))	(3, 453) (3, 397) (3, 318) (3, 295) (3, 257)			学術雑誌1,759種

(6) 図	書	館		面		積		Ę	閲覧座	座席 数		収	納	可	能	₩	数	
(O) Ø		KB				2, 976. 8	5m²				410席					260	0, 000 m	
(7) 体	育	館		面		積				体育館以	外のスァ	ポーツ旅	設の	概要				
(7) 本	Ħ	K6					m³											
	奴弗		区	分		開設年度	F	記成年度	区	分	開設前	前年度	開	設年度	ŧ	完成		
(8)	f 生 (.)		1 人 当	り研究	費等	千円		千円	図書購入費			千円		7	一円		千円	
経費の見 積り及び	恨り	共	同 研	究費	等	千円		千円	設備	購入費		千円		7	一円		千円	
維持方法 の 概 要	学生 1	人当り		第1年次		第2年次		第3年	次	第4年	次	第	5 年》	ヤ		第6年	手次	
	納	付金			千円	7	f円		千円		千円			千円			千円	
学生納付金以外の維持方法の概					の概要													

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その 理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東	北 :	L	業大	学									ſ	뷲	考
既設学部等の名称	修業 年限	入定	学員	編入学定 員	収定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開年	設 度	所	在	地			
	年		人	年次		人		倍								
工学部 知能エレクトロニクス学科	4	1	20). (480	学士 (工学)	0. 77	昭和39	9年度		一木ノ	合市太 山香澄			
情報通信工学科	4	1	20	(480	学士 (工学)	0. 97	昭和39	9年度		同上				
建築学科	4	1	20	()	480	学士 (工学)	1.06	昭和4	1年度		同上				
都市マネジメント学科	4		80	()	320	学士 (工学)	0. 75	昭和42	2年度		同上		平成23年 学科から	より建記 名称変列	殳システムエ 更
環境情報工学科 環境エネルギー学科	4	- 1	00	- ()	- 400	学士 (工学)	0. 69	平成13			同上		平成24年	より学生	上募集停止
ライフデザイン学部 クリエイティブデザイン学科	4		80	()	320	学士 (デザイン)	0. 76	平成20	0年度			台市太 日6番			
安全安心生活デザイン学科	4		80	(320	学士	0. 81	平成20	0年度		同上				
経営コミュニケーション学科	4		60	()	240	学士 (経営コミュニケー ション)	1.14	平成20	0年度		同上				

大学の名称	東	北	エ	業大	学	大	学院						備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入定	学員	編入学定 員		容員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設年 度	所	在	地		
	年		人	年次		人		倍						
工学研究科				人										
博士(前期)課程										宮城県				
電子工学専攻	2		5	0		10	修士 (工学)	0. 70	平成5年度	白区/ 町35-		∐杳澄		
通信工学専攻	2		5	0		10	修士 (工学)	0. 50	平成4年度		同上			
建築学専攻	2		5	0		10	修士 (工学)	1.80	平成4年度		同上			
土木工学専攻	2		5	0		10	修士 (工学)	0. 40	平成4年度		同上			
デザインエ学専攻			-	-	-				平成12年度				平成24年より	学生募集停止
環境情報工学専攻	2		5	0		10	修士 (工学)	1. 10	平成12年度		同上			
ライフデザイン学研究科博士(前期)課程										<u> </u>	.	· —		
デザイン工学専攻	2		5	0		10	修士 (デザイ ン工学)	0. 40	平成24年度	宮城県白区二	表価で こツが	本市会 番 6 月		
 工学研究科														
博士(後期)課程										宮城県 白区/				
電子工学専攻	3		2	0		6	博士 (工学)	0. 16	平成7年度	町35-	-1	山日 /立		
通信工学専攻	3		2	0		6	博士 (工学)	0. 00	平成6年度		同上			
建築学専攻	3		2	0		6	博士 (工学)	0. 16	平成6年度		同上			
土木工学専攻	3		2	0		6	博士 (工学)	0. 16	平成7年度		同上			
デザイン工学専攻			_	-	-				平成14年度				平成24年より	产生募集停止
環境情報工学専攻	3		2	0		6	博士 (工学)	0. 00	平成14年度		同上			
ライフデザイン学研究科														
博士(後期)課程 デザイン工学専攻	3		2	0		6	博士 (デザイ ンエ学)	0. 16	平成24年度	宮城県白区二	₹仙台 ニツ洌	太市台 番 6 月		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(<u>A C 対象学部等含む</u>)について、それぞれの学校種ごとに、 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 環境エネルギー学科>

(1) 担当教員表

		設 置 時	の計画				変 更	된 状 況		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授 (学科長)	飯沼 恒— (65)	平成24年4月	環境・エルギーセナー 物理分類分学 I 環境科学総論 環境・エルギー研修 II 環境・エルギー研修 II 地球環境・エルギー研修 II 地球環境・マルギー研修 II 地球環境科学	専	教授	飯沼 恒一 (65)	平成24年4月	環境・エキペ・セナー 物理学 観分等分学 I 環境等学能等 環境・エキペー研修 I 環境・エキペー研修 I 環境・エキペー研修 I 地域環境科学 地域環境科学 環境・エキペー主機研修	平成24年4月 職名の変更 (24)
				人 ス 条 児 エ 子 環境・エネルキ* - 基礎研修						平成25年3月 飯沼教授定年退職(25)
					専	教授	丸尾 容子 (51)	平成25年4月	振荡、工林中、七分一 振荡科学结构 振荡、工林中、田学家 振荡、工林中、田学郎 振荡、工林中、田学郎 振荡、工林中、田学郎 大気震速工学 環境、工林中、上直機研修	平成25年度新規採用 (25)
					専	教授	丸尾 容子 (52)	平成26年4月	環境・エキャ・セナー 環境科学報酬 エネル・一番修正 環境・エル・一番修正 環境・エル・一番修正 地域の選供学 地域の選供学 大・ストル・三級研修 環境・エル・ 選携・エル・ 選携・エル・ 選携・エル・ 選携・エル・ 選携・エル・ 選携・エル・ 選携・エル・ 選携・エル・ 選供 フトル・ 選供 フトル・ 選供 フトル・ フトル・ フトル・ フトル・ フトル・ フトル・ フトル・ フトル・	平成26年4月 教育課程の充実を固るため、 担当科目の変更 (26)
					專	教授	丸尾 容子 (53)	平成27年4月	環境・エルヤーセナー 環境科学総論 エルイー工学実験 環境・エルヤー研修 I 環境・エルヤー研修 I 環境・エルヤー研修 I 地域開発科学 環境・エルヤー基礎研修 環境・エルヤー基礎研修 環境 アルオー 環境 アルオー	平成27年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更 (27)
専	教授	山田 —博 (48)	平成24年4月	環境・144年-1七十一 環境投資・244年 環境投資・244年 環境投資・244年-研修修 II 環境投資・244年-研修 II 開發域環境環境接近 開發域環境環境接近 環境運動域 展現境運動 展現境運動 展現度運動 展現度運動 展現度運動 展現 展現度 展現 展現 展現 展現 展現 展現 展現 展現 展現 展現 展現 展現 展現	専	教授	山田 一裕 (48)	平成24年4月	機能・エルヤ・セナー 環境科学総論 環境・アナス・研修 I 環境・エルヤ・研修 I 環境・エルヤ・研修 I 環境・エルヤ・研修 I 環境・エルヤ・研修 I 環境・エルヤ・研修 I 環境・エルヤ・運動 環境・エルヤ・運動 環境・エルヤ・運動 環境・エルヤ・運動 環境・エルヤ・運動 関係・エル・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	平成24年4月 氏名 (漢字) の訂正 (24)
					専	教授	山田 一 裕 (49)	平成25年4月	環境・144*セジー 環境科学総論 環境・144*・研修 I 環境・144*・研修 I 環境・144*・研修 I 環境・144*・研修 I 環境・144*・基礎研修 環境・144・基礎研修 環境市民活動 支援機関工学 地域環境関変実習	平成25年4月 時間割構成上のため、 担当科目の変更(25)
					専	教授	山田 一裕 (50)	平成26年4月	環境・エルゲーセジー 環境や予味物 環境・エルゲー研修 I 環境・エルゲー研修 I 環境・エルゲー研修 I 環境・エルゲー研修 I 環境・エルゲー研修 I 環境・エルゲー基 環境にアルゲー 環境にアルゲー 環境にアルゲー 高機能の関係を 地域環境関連 地域環境関連 地域環境関連 地域環境関連 地域環境関連	平成26年4月 時間新編成上のため、 担当科目の変更(28)
					專	教授	山田 一裕 (51)	平成27年4月	職機・エキゲーセナー 関機・エキゲーセナー 関機・エキゲー研修 I 関機・エキゲー研修 I 関係・エキゲー研修 I 関係・エキゲー研修 I 関係・エキゲー系列 I 「一年	平成27年4月 時間新編成上のため、 担当科目の変更 (27)

		設置時	うり 計画		11		変更	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	江成 敬次郎 (65)	平成24年4月	數字へ回原 環境提升字結論 環境投升字結論 環境投升字結論 環境提出系統一研修Ⅱ 環境提出系統一研修Ⅲ 環境提出系統一研修Ⅲ 環境提出表統一研修Ⅲ 域域上系統一研修Ⅲ 域域上系統一研修Ⅲ 域域上系統一研修Ⅲ 域域上域域上等 地域域形成一位 地域環境環境上等 現代科学統論 A	専	教授	江成 敬 次郎 (66)	平成25年4月	数学のの接 無規用型通過 課題・144年でかり 無規数・144年である 開業数・144年である 開業数・144年である 開業数・144年である 開業数・144年である 開業数・144年である 開業数・144年である 開業数・144年である 開業数・144年である 開業数・144年である 開業数・144年である 開業数・144年である 開業数・144年である 開業数・144年である 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本のでも 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の	平成25年4月 時間割額成上のため、 担当科目の変更 (25)
					兼任	講師	江成 敬次郎 (67)	平成26年4月	水環境工学	退職に伴う職名の変更 (26)
					兼任	講師	江成 敬次郎 (68)	平成27年4月		平成27年4月 時間割縄成上のため、 担当科目の変更 (27)
専	教授	齋藤 輝文 (55)	平成24年4月	環境・エネペーセナー 物理学学総論 環境科学総論 国現度気学を第二 国現度気学を第二 エルイーを第二 東京 電視・エルペーー・一手を 電機・エルペーー・一手を に ファッチンド、アスエルの 環境・エルペーー・ 電機・エルー・ 電機・エルー・ を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	専	教授	寮藤 輝文 (56)	平成25年4月	環境 エはペーセジー 物理学 総論 報度とジネス同東晋 エはペーエ学表表 現実 エはペーモ学表 展集 エはペーモ学の 展集 エはペーモ学の 展集 エはペーモー エはペーエを同業 アッパンクと同盟 現実・エはペーエを同盟 現代・エはペーエを同盟 現代・エはペーエを同盟 現代・エはペーエを同業 現代・エはペーエを同業 現代・エはペーエを同業	平成25年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更 (25)
					専	教授	寮藤 輝文 (57)	平成26年4月	環境・エキャーセナー 物理学 環境サラルス 電磁気学及び開放管 エネャー・工学実験 環境・エネャー・研修 I 環境・エネャー・研修 I 環境・エネャー・研修 I ボックラング・アクロ開放管 環境・エネャー・重視研修	平成26年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更 (26)
専	教授	宮本 裕一 (61)	平成24年4月	エネルギー板論 環境・は終*・セラー 環境科学総論 出後・エルギー・研修 環境・は終*・一番・一番 環境・は終*・一番・一番 環境・は終*・一番・一番 環境・は終*・一番・一番 環境・上終*・一番・一番 環境・上終*・一番・ エルギー・エー スルギー・エー スルギー・エー スルギー・エー スルギー・エー スルギー・エー スルギー・エー スルギー・エー スルギー・エー スル・エー スー スル・エー スー スー スー スー スー スー スー スー スー スー スー スー スー	専	教授 (学科 長)	宮本 裕一 (61)	平成24年4月	エネルギー報論 環境・144年 それで 環境等学館論 また。144年 工学来教 環境・144年 - 可修正 環境・144年 - 可修正 環境・144年 - 可修正 再生可能は44年 - 一 環境・144年 - 一 のでは、144年 - 日 のでは、144年 - 日 のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは のでは	平成24年4月 職名の変更 (24)
					專	教授 (学科 長)	宫本 裕一 (64)	平成27年4月	エネルギー報論 課後、エかド・セジー 課後・エかド・マジー 課後・エかド・研修 I 課後・エかド・研修 I 課後・エかド・研修 I 記が・三を 伊生可能エかド・・ 伊生可能エかド・・ アメート・デート・ アメート・アリット エネル・一個御工学	平成27年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更 (27)
専	教授	浅井 和弘 (66)	平成24年4月	環境問題通論 環境 エネギ・セナー 環境科学総論 は本ギ・工学験 環境・エネギ・研修 I 環境・エネギ・研修 I 環境・エネギ・研修 I 環境・エネギ・研修 I 環境・エネギ・研修 I 変境・エネギ・研修 I 変境・エネギ・研修 I フンピュータネトワーク I						平成25年3月 浅井教授定年温職(25)
専	准教授	穴澤 正宏 (47)	平成24年4月	環境・エルギーセナー 環境・エルギーセナー 環境・エルギーサー 数分額分学 II 環境・エルギー研修 II 環境・エルギー研修 II 環境・エルギー研修 II 環境・エルギー・基礎研修 環境・エルギー基礎研修 環境・エルギー基礎研修	専	准教授	穴澤 正宏 (48)	平成25年4月	環境・エルヤ・セジー 環境科学会論 アップ・ジング・及び同項管 I 環境・エルヤ・研修 I 現代・エルヤ・研修 I 環境・エルヤ・研修 I 環境・エルヤ・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	平成25年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更 (25)
					専	教授	六澤 正宏 (49)	平成26年4月	環境・エキャーとと・ 環境科学動物 アッケラング、及び同演習 I 報分・エキャー研修 I 環境・エキャー研修 I 環境・エキャー・研修 I 環境・エキャー・基礎研修 環境・エキャー・基礎研修 環境・エキャー・基礎研修	平成26年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更 職名の変更 (26)

I		設置時	まの計画				変更	以		Ī
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	准教授	内田 美穂 (45)	平成24年4月	化学への旅 環境・エネペ・セナー 環境科学総論 基礎化学実験 環境・エネペ・研修 I 環境・エネペ・研修 I 環境・エネペ・研修 I 環境・エネペ・研修 I 環境・エネペ・研修 I 環境・エネペ・研修 I 環境・エネペ・研修 I 環境・エネペ・基礎研修						
専	准教授	加藤 善大 (40)	平成24年4月	エネルギー概論 環境・エネギ・セナー 環境科学認論 電気化学 環境・エネギー研修 I 環境・エネギー研修 I 環境・エネギー研修 I 環境・エネギー研修 I 環境・エネギー基礎研修						
専	准教授	小祝 慶紀 (48)	平成24年4月	環境・244年で十一 環境科学認識 研修 II 環境・244年で研修 II 環境・244年で研修 II 環境・244年の開催 環境・244年の開催 環境・244年の開催 環境・244年の開催 環境・244年の開催 環境を対した。 環境を対した。 環境を対した。 環境を対した。 環境を対した。 環境を対した。 環境を対した。 環境を対した。 環境を対した。 関係を対した。 環境を対した。 関係を対した。 環境を対した。 関係を対し、 関係を対し。 関係を対し 関係を 関係を 関係を	専	准教授	小祝 慶紀 (49)	平成25年4月	票集・144ペーセジー 無実用学能動 無実用学能動 無実用学能動 無実理社会・研修製 I 需要、144ペー研修製 I 需要、144ペー研修 I 需要、144ペー研修 I 需要、144ペー研修 I 需要、144ペー研修 I 需要、144ペー研修 I を を を を を を を を を を を を を	平成25年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更 (25)
					専	教授	小祝 慶紀 (51)	平成26年4月	据接、土林产 七十一 需接料字整确 需接限型金融 有接型 土林产 一种新工 需接 工林产 工 工林产 工 工林产 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工	平成26年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更 職名の変更 (26)
					専	教授	小祝 慶紀 (52)	平成27年4月	環境・土料・七寸 環境科学結論 環境開連論 開度、日本学・研修 I 環境・土材・研修 I 環境・土材・研修 I 環境・土材・研修 I 環境・土材・研修 I 環境・土材・研修 I 環境・土材・研修 I 環境・土材・研修 I 環境・土材・研修 I 環境・大学 I 財産 I 財産 I 財産 I 財産 I 財産 I 財産 I 財産 I 財産	平成27年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更
専	准教授	小濱 暁子 (39)	平成24年4月	生命への旅 環境・エネペ・セナー 環境科学総論 環境・エネペ・研修 II 環境・エネペ・研修 II 環境・エネペ・基礎研修 保全生態学 地域環境制度を表現を表現を表現を 地域環境制度を表現を表現を表現を 地域環境制度を表現を 地域環境制度を表現を 地域環境制度を表現を 地域環境制度を表現を 地域環境制度を表現を 地域環境制度を表現を 地域環境制度を 地域環境制度を 地域環境制度を 地域環境制度を 地域環境制度を 地域環境制度を 地域環境制度を 地域環境制度を 地域環境制度を 地域環境制度を 地域環境制度を 地域環境制度を 地域環境制度を 地域環境制度を 地域環境制度を 地域現代を 地域現代を 地域現代を 地域現代を 地域に 地域に 地域に 地域に 地域に 地域に 地域に 地域に	専	准教授	佐野 哲也 (35)	平成25年4月	生命への旅 環境・144年・セジー 環境・144年・研修 I 環境・144年・研修 I 環境・144年・研修 I 環境・144年・高級研修 環境・144年・高級研修 環境・144年・高級研修 現域・144年・日本の 日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・日本のでは、14年日・14年日・日本のでは、14年日・14年日・14年日・14年日・14年日・14年日・14年日・14年日・	平成25年1月 小濱准教授退職のため 平成25年度より新任教員に 変更 (25)
					専	准教授	佐野 哲也 (36)	平成26年4月	生命への旅 環境・エルペーセナー 環境・エルペー研修 I 環境・エルペー研修 I 環境・エルペー研修 I 環境・エルペー基礎研修 環境・エルペー基礎研修 地域環境関連支援 地域環境関連支援	平成26年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更 (26)
					専	准教授	佐野 哲也 (37)	平成27年4月	生命への旅 一根	平成27年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更 (27)
専	准教授	近藤 祐一郎 (42)	平成24年4月	環境・お料・セナー 環境科学総論 環境・お料・研修 I 環境・お料・研修 I 環境・お料・研修 I 環境・お料・研修 I 地理情報ンペテム 地域環境情報 エコデザイン 環境・球科・基礎所修 地域環境計画及び同演習 環境・な材・ト人及び同演習	専	准教授	近藤 祐一郎 (44)	平成26年4月	議僚・エはや・七寸一 関係科学物館 開係・エはや・研修 I 開係・エはや・研修 I 開係・エはや・研修 I 開係・エはや・可修 I 開係・エはや・可修 I 開係・エはや・正確研修 は、エはや・正確研修 対域・現代・上の同談習 開表すなが、少し及び同談習	平成26年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更(26)

I		設置時	りょう かい 計 画 かんかん かんかん かいかん かいかん かんかん かんかん かんかん かん				変更	打 状 況		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	准教授	佐藤 篤 (41)	平成24年4月	Web技術入門 環接・エルギーセナー 環接・エルギーサシー 電気回路及び同議習 環接・エルギー研修 I 環接・エルギー研修 I 環接・エルギー研修 II アルニリズム 環境・エルギー基礎研修	専	准教授	佐藤 篇 (43)	平成26年4月	Tob技術入門 環境・エルペーセシー 環境・エルペーセシー 環境の国外の関連 環境・エルペー研修工 環境・エルペー研修工 環境・エルペー研修工 環境・エルペー基礎研修 電機・エルペー基礎研修 電機・エルペー基礎研修	平成26年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更 (26)
					専	講師	牧 雅廉 (38)	平成26年4月	環境・エキペーセラー 素質・チャー・ 地球環境情報 地球環境情報 地球環境情報 地球環境情報 地球環境情報 地球環境情報 地球環境情報 地球環境情報 上学研修工 最後、エキペーの修訂 環境では、エキザーの修訂 環境では、エキザーの の の の の の の の の の の の の の	平成26年度新規採用(26)
					専	講師	田倉 哲也 (32)	平成26年4月	物理への原 無機関連 無機関連 無機料学能 所 定 がようかが 及び同 を で がようかが を の に を は に を に を に を に を に を に を に を に を に	平成26年度新規採用 (26)
					専	講師	田倉 哲也 (33)	平成27年4月	物理の原理 開発を主要を 開発を主要を 開発を主要を には、1970年の 開発を主要を には、1970年の 開発を主要を には、1970年の 開発を主要を には、1970年の 開発を主要を には、1970年の に	平成27年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更(27)
					専	助教	野澤 壽一 (51)	平成27年4月	エネルギー工学実験	平成27年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の追加 (27)

<共通>

		設置時	の計画				変更	ラ 状 況		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼任	講師	飯沼 恒一 (66)	平成25年4月	物理学 微分積分学 I	平成25年3月 飯沼教授定年退職のため、 平成25年度より職名、 担当科目の変更 (25)
					兼任	講師	浅井 和弘 (67)	平成25年5月	乘统問題通論	平成25年3月 浅井教授定年温職のため、 平成25年度より職名、 担当科目の変更 (25)
					兼任	講師	浅井 和弘 (68)	平成26年4月		平成26年3月 専任講師の退職による 変更 (26)
兼担	教授	葛西重信 (52)	平成24年4月	基礎化学 無機化学 基礎化学実験 現代科学総論A	兼担	教授	葛西重信 (53)	平成25年4月	基礎化学 無機化学 基礎化学実験	平成25年4月 時間割縄成上のため、 担当科目の変更(25)
					兼担	教授	葛西重信 (54)	平成26年4月	基礎化学 無機化学 基礎化学実験 エネメイト゚ーデパイス工学	平成26年4月 担当科目の追加 (26)
					兼担	教授	葛西重信 (55)	平成27年4月	基礎化学 無機化学 基礎化学実験 ユメバーディバイ工学 環境科学統論	平成27年4月 担当科目の追加 (27)
					兼担	准教授	多田美香 (40)	平成27年4月	基礎化学実験	平成27年4月 担当科目の追加 (27)
兼担	教授	島田 勉 (59)	平成25年4月	代数・幾何	兼任	講師	今井 秀雄	平成25年4月	代数・幾何	平成25年4月 時間割縄成上のため、
兼任	講師	今井 秀雄 (64)	平成25年4月	代数・幾何	-,,,,,,,		(65)			担当者の変更(25)

I		設置	寺の計画				変更	5 状況		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備 考
					兼任	講師	鈴木 章二 (66)	平成24年4月	物理への旅 基礎 物理実験	平成24年4月 担当者の変更 (24)
兼担	教授	梅田 健太郎 (59)	平成24年4月	物理への旅 基礎物理実験	兼任	講師	鈴木 章二 (67)	平成25年4月	物理への旅	平成25年4月 時間割縄成上のため、 担当科目の変更 (25)
					兼担	教授	梅田 健 太郎 (60)	平成25年4月	基礎物理実験	平成25年4月 時間割縄成上のため、 担当者の変更 (25)
					章	講師	田倉 哲也 (32)	平成26年4月	物理への旅	平成26年4月 教育課程の充実を図るため 追加 (26)
					兼担	准教授	新井 敏一 (49)	平成26年4月	基礎物理実験	平成26年4月 教育課程の充実を図るため 追加 (26)
兼担	教授	小川 淑人 (60)	平成25年4月	統計学						
兼担	准教授	片山 文雄 (39)	平成25年4月	市民と法 市民と政治 日本国憲法	兼担	准教授	片山 文雄 (40)	平成26年4月	市民と法 市民と政治 日本国意法 現代科学総論A	平成26年4月 担当科目の追加 (26)
					兼担	准教授	片山 文 雄 (41)	平成27年4月	市民と法 市民と政治 日本国憲法	平成27年4月 教育課程の充実を図るため 担当科目の変更(27)
兼担	教授	小川 和久 (48)	平成25年4月	暮らしと心理学 産業社会と心理学						
兼担	教授	野家 伸也 (59)	平成25年4月	現代思想と科学 技術と人間 現代の倫理 現代の哲学						
兼担	講師	高橋 秀太郎 (37)	平成24年4月	表象文化論 日本語表現 現代科学総論B	兼担	准教授	高橋 秀太郎 (38)	平成25年4月	表象文化論 日本語表現	平成25年4月 時間割縄成上及び昇任のため、 職名・担当科目の変更 (25)
兼担	准教授	丹治 道彦 (50)	平成27年10月	文化の諸相						平成26年10月過職
兼担	教授	高橋 克明 (63)	平成25年4月	英語ⅡA 英語ⅡB	兼任	講師	柴田 尚子 (36)	平成25年4月	英語 II A 英語 II B	平成25年4月 時間割編成上のため、 担当者の変更(25)
					兼担	講師	鈴木 淳 (37)	平成24年4月	英語IA 英語IB 資格英語B	平成24年4月 担当科目の追加 (24)
兼担	講師	鈴木 淳 (37)	平成25年4月	資格英語B	兼担	教授	高橋 克明 (64)	平成25年4月	資格英語B	平成25年4月 時間割縄成上のため、 担当者の変更(25)
					兼担	准教授	鈴木 淳 (39)	平成26年4月	英語IA 英語IB 資格英語B	平成26年4月 時間割編成上のため、 担当者の変更 (26)
兼任	講師	小林 亜希 (28)	平成25年4月	資格英語A	兼担	講師	鈴木 淳 (38)	平成25年4月	資格英語A	平成25年4月 時間割縄成上のため、 担当者の変更 (25)
		(20)			兼担	准教授	高橋 哲徳 (47)	平成26年4月	資格英語A	平成26年4月 時間割縄成上のため、 担当者の変更 (26)
兼担	理事長	岩崎 俊一 (85)	平成26年4月	現代科学総論A	兼担	理事長	岩崎 俊一 (86)	平成25年4月	現代科学総論A	平成25年4月 時間割縄成上のため、 開騰期の変更 (25)
兼担	教授	石川 善美 (63)	平成24年4月	現代科学総論A	兼担	教授	稲村 華 (67)	平成25年4月	現代科学総論A	平成25年4月 教育課程の充実のため、 担当者の変更 (25)
					兼担	教授	稲村 肇 (68)	平成25年4月		平成26年4月 時間割編成上の都合により 変更 (26)
兼担	教授	西野 敏信 (67)	平成26年4月	現代科学総論A	兼担	教授	村岡 一信 (59)	平成25年4月	現代科学 統論 A	平成25年4月 教育課程の充実のため、 担当者の変更 (25)
					兼担	教授	村岡 一信 (60)	平成25年4月		平成26年4月 時間割縄成上の都合により 変更 (26)
兼担	教授	本多 直樹 (62)	平成26年4月	現代科学総論A	兼担	教授	本多 直樹 (63)	平成25年4月	現代科学統論A	平成25年4月 時間割縄成上のため、 開講期の変更 (25)
					兼担	助教	鈴木 博司 (61)	平成25年4月	現代科学総論A	平成25年4月 教育課程の充実を図るため 追加 (25)

		設置時	りゅう かい		П		変更	更 状 況		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
					兼担	准教授	梅田 弘樹 (46)	平成25年4月	現代科学総論A	平成25年4月 教育課程の充実を図るため 追加 (25)
					兼担	准教授	梅田 弘樹 (47)	平成25年4月		平成26年4月 時間割縄成上の都合により 変更 (26)
					兼担	准教授	福留 邦洋 (42)	平成25年4月	現代科学総論A	平成25年4月 教育課程の充実を図るため 追加 (25)
					兼担	准教授	福留 邦洋 (43)	平成25年4月		平成26年4月 時間割編成上の都合により 変更 (26)
					兼担	准教授	多田 美香 (38)	平成25年4月	現代科学総論A	平成25年4月 教育課程の充実を図るため 追加 (25)
					兼担	准教授	多田 美香 (39)	平成25年4月		平成26年4月 時間割縄成上の都合により 変更 (26)
兼担	教授	村井 貞規 (63)	平成26年4月	現代科学総論A	兼担	教授	上杉 直 (65)	平成26年4月	現代科学総論A	平成26年4月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (26)
					兼担	教授	上杉 直 (66)	平成26年4月		平成27年4月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (27)
					兼担	教授	木戸 博 (50)	平成27年4月	現代科学總論 A	平成27年4月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (27)
兼担	准教授	松田 勝敬 (40)	平成26年4月	現代科学総論A	兼担	教授	今 野 弘 (65)	平成26年4月	現代科学總論A	平成26年4月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (26)
					兼担	教授	今野 弘 (66)	平成27年4月		平成27年4月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (27)
					兼担	教授	千葉 則行 (61)	平成27年4月	現代科学館輸入	平成27年4月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (27)
兼担	講師	新井 信幸 (39)	平成26年4月	現代科学総論A	兼担	准教授	鹿野 護 (41)	平成26年4月	現代科学総論A	平成26年4月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (26)
					兼担	准教授	鹿野 護 (42)	平成26年4月		平成27年4月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (27)
					兼担	教授	薛 松濤 (51)	平成27年4月	現代科学館輸入	平成27年4月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (27)
					兼担	准教授	二瀬 由理 (45)	平成27年4月	現代科学館輸入	平成27年4月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (27)
					兼担	講師	Simon Daniel Cooke (43)	平成27年4月	現代科学統論A	平成27年4月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (27)
兼担	学長	沢田 康次 (74)	平成26年10月	現代科学総論B	兼担	学長	宮城 光信 (70)	平成25年10月	現代科学館論B	平成25年3月 沢田康次学長任期満了のため 担当者(学長)の変更(25)
					兼担	学長	宮城 光信 (71)	平成25年10月		平成26年10月 時間割縄成上の都合により 変更 (26)
					兼担	准教授	河野 公一 (38)	平成25年10月	現代科学総論B	平成25年10月 教育課程の充実を図るため 追加 (25)
					兼担	准教授	河野 公一 (39)	平成25年10月		平成26年10月 時間割編成上の都合により 変更 (26)
					兼担	助教	小関 公明 (58)	平成25年10月	現代科学館論B	平成25年10月 教育課程の充実を図るため 追加 (25)
					兼担	教授	今野 弘 (64)	平成25年10月	現代科学総論B	平成25年10月 教育課程の充実を図るため 追加 (25)
					兼担	教授	今野 弘 (65)	平成25年10月		平成26年10月 時間割編成上の都合により 変更 (26)
兼担	教授	新井 信一 (65)	平成26年10月	現代科学総論B	兼担	教授	今西 肇 (62)	平成26年10月	現代科学総論B	平成26年10月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (26)
兼担	准教授	田村 英樹 (38)	平成26年10月	現代科学総論B	兼担	教授	藤田 豊巳 (48)	平成26年10月	現代科学能論B	平成26年10月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更(26)

		設置	寺の計画				変 更	된 状 況		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備 考
兼担	准教授	堀 則男 (42)	平成26年10月	現代科学総論B	兼担	准教授	諏訪 雅貴 (43)	平成26年10月	現代科学総論B	平成26年10月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (26)
					兼担	准教授	諏訪 雅貴 (44)	平成27年10月		平成27年10月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (27)
					兼担	准教授	堀江 政広 (44)	平成27年10月	現代科学館輸B	平成27年10月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (26)
					兼担	教授	工藤 栄亮 (51)	平成26年10月	現代科学総論B	平成26年10月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更(27)
					兼担	教授	工藤 栄亮 (52)	平成27年10月		平成27年10月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (27)
					兼担	教授	佐藤 光男 (65)	平成27年10月	現代科学館輸B	平成27年10月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (27)
					兼担	講師	松生 香里 (40)	平成26年10月	現代科学統論B	平成26年10月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (26)
					兼担	准教授	新井 敏一 (50)	平成27年10月	現代科学維輸B	平成27年10月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (27)
兼担	講師	水野 文雄 (35)	平成26年10月	現代科学総論B	兼担	講師	水野 文雄 (36)	平成25年10月	現代科学維輸B	平成25年4月 時間割編成上のため、 開講期の変更 (25)
					兼担	講師	水野 文雄 (38)	平成27年10月		平成27年4月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (27)
					兼担	助數	小関 公明 (60)	平成27年10月	現代科学総論B	平成27年10月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (27)
兼担	教授	高田 潤一 (67)	平成24年4月	スポーツ実技 I スポーツ身体科学 スポーツ実技 II	兼任	講師	高田 潤一 (67)	平成24年4月	スポーツ実技 I スポーツ身体科学 スポーツ実技 II 健康論	平成24年4月 退職に伴う職名等の変更 (24)
		(07)		健康論 スポーツ実技 I	兼任	講師	松原 悟 (55)	平成25年4月	スポーツ実技 I スポーツ身体科学	平成25年4月 時間割編成上のため、 担当者の変更 (25)
兼担	助教	中島 千恵子 (64)	平成24年4月	スポーツ身体科学 スポーツ実技Ⅱ 健康論	兼担	講師	松生 香里 (39)	平成25年4月	スポーツ実技 I スポーツ身体科学 スポーツ実技 II 健康論	平成25年3月 中島助教定年退職のため、 新規採用者に変更(25)
					兼担	講師	松生 香里 (40)	平成26年4月	スポーツ実技 I スポーツ身体科学 スポーツ実技 I 健康論 現代科学総論 B	平成26年4月 担当科目の追加(26)
					兼任	講師	松生 香里 (41)	平成27年3月		平成27年3月 退職
					兼任	講師	高野 淳司 (42)	平成27年4月	スポーツ実技 I スポーツ身体科学	平成27年4月 松生講師退職のため、 担当者の変更(27)
兼担	准教授	坂本 譲 (40)	平成24年4月	スポーツ実技 I スポーツ身体科学 スポーツ実技 II 健康論	兼任	准教授	坂本 藤 (43)	平成27年3月		平成27年3月 退職
					兼任	講師	伊勢 只義 (29)	平成27年4月	スポーツ実技 I スポーツ身体科学	平成27年4月 坂本准教授退職のため 担当者の変更(27)
					兼任	講師	三浦 千早 (41)	平成27年4月	スポーツ実技Ⅱ	平成27年4月 坂本准教授退職のため 担当者の変更(27)
兼任	講師	柴崎 徹 (70)	平成24年4月	生態学基礎 ヒューマンエコロジー	兼任	講師	遠藤 菜緒子 (39)	平成25年4月	生態学基礎保全生態学	平成25年4月 時間割編成上のため、 担当者の変更 (25)
兼任	講師講師	古賀 秀昭 (69) 門脇 正幸 (62)	平成25年4月 平成26年4月	コンピュータシステム エネルギー工学実験 データベース	兼任	講師	門脇 正幸 (62)	平成25年4月	コンピュータシステム データベース	平成25年4月 時間割縄成上のため、 担当者の変更 (25)
兼任	講師	高橋 雄志 (49)	平成25年4月	地域環境情報	専	講師	牧 雅康 (38)	平成26年4月	地球環境情報	平成26年4月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (26)
兼任	講師	石山 徳昭 (52)	平成26年4月	エコデザイン		194 det . 1-00	近藤 祐一郎	W. Parker . P		平成26年4月 教育課程の充実を図るため
兼任	講師	氏家 清一 (57)	平成26年4月	エコデザイン	専	准教授	(44)	平成26年4月	エコデザイン	担当者の変更 (26)

		設置時	きの計画		I		変更			
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備 考
兼任	講師	須藤 幸蔵 (66)	平成26年4月	環境関係法 環境アセスメント	専	教授	小祝 慶紀 (51)	平成26年4月	環境関係法	平成26年4月月 時間割編成上のため、 担当者の変更 (26)
					兼任	講師	江成 敬次郎 (68)	平成27年4月	環境アセスメント	平成27年4月 時間割縄成上のため、 担当科目の変更 (27)
					兼任	講師	川本 康隆 (39)	平成27年4月	スマートグリッド	平成27年4月 教育課程の充実を図るため 担当者の変更 (27)
					兼任	講師	藤岡 健司 (41)	平成27年4月	地域環境調査法	平成27年4月 教育課程の充実を図るため 担当者の追加(27)
兼任	講師	捧 奈緒美 (32)	平成26年4月	CAD技術						
兼任	講師	木村 雅史 (33)	平成24年4月	現代社会論	兼任	講師	木村 雅史 (33)	平成24年4月	現代社会論 メディア文化論	平成24年4月 担当科目の追加 (24)
兼任	講師	舛谷 謙二 (56)	平成24年4月	情報化社会の経済	兼任	講師	折原 裕 (63)	平成24年10月	情報化社会の経済	平成24年4月 担当者・授業開講期の変更 (24)
兼任	講師	吉原 健雄 (46)	平成25年10月	日本近代史 日本文化史						
兼任	講師	仁平 政人 (33)	平成24年4月	メディア文化論	兼任	講師	仁平 政人 (33)			平成24年4月 担当者の変更(24)
					兼任	講師	白石 冬人 (25)	平成26年4月	フランス語A フランス語B	平成26年4月 時間割編成上のため、 担当者の変更(26)
兼任	講師	岩瀬 広明	平成24年4月	文化の諸相 フランス語A	兼任	講師	白石 冬人 (26)	平成27年4月	フランス語 A フランス語 B フランス語演習	平成27年4月 担当科目の追加(27)
		(68)	.,,,,	フランス語B フランス語演習	兼任	講師	石田 雅樹 (27)	平成26年4月	フランス語演習	平成26年4月 時間割編成上のため、 担当者の変更 (26)
					兼任	講師	石田 雅樹 (28)	平成27年4月		
兼任	講師	荒井 富雄 (64)	平成26年10月	文化の諸相						
兼任	講師	浅野 純子 (52)	平成26年4月	ビジネスマナー						
兼任	講師	村山 雅夫 (70)	平成24年4月	英語 I A 英語 I B	兼担	准教授	高橋 哲徳 (45)	平成24年4月	英語 I A 英語 I B	平成24年4月 担当者の変更 (24)
		(70)		央計1B	兼担	准教授	鈴木 淳 (39)	平成26年4月	英語 I A 英語 I B 香格英 語 B	平成26年4月 教育課程の充実を図るため 追加 (26)
兼任	講師	秀田 葉子 (50)	平成25年4月	英語Ⅱ A 英語Ⅱ B	兼担	講師	Simon Daniel Cooke (43)	平成27年4月	英語II A 英語II B	平成24年4月 担当者の変更(27)
					兼任	講師	JOHN LORNE SPRY (64)	平成24年4月	英会話A	平成24年4月
*/T	- 本本本	Mark Jabusch	平成24年4月	英会話A	兼任	講師	Mark Jabusch (62)	平成24年10月	英会話B	担当者の変更 (24)
兼任	講師	(62)	平成24年4月	英会話B	兼担	講師	Simon Daniel Cooke	平成25年10月	英会話B	平成25年4月新規採用のため 担当者の変更 (25)
					兼担	講師	(41) Simon Daniel Cooke	平成26年4月	英会話 A 英会話 B	平成26年4月 担当科目の追加 (26)
兼任	講師	藤原 五雄 (68)	平成24年4月	ドイツ語 A ドイツ語 B	兼任	講師	(42) 松崎 裕人 (48)	平成26年4月	ドイツ語A ドイツ語B	平成26年4月 担当者の変更 (26)
兼任	講師	権 来順 (55)	平成24年4月	韓国語 A 韓国語 B 韓国語演習	兼任	講師	権 来順 (57)	平成26年10月	韓国語A 韓国語B 韓国語演習 文化の離相	平成26年4月 担当科目の追加 (26)
					兼任	講師	范 軍 (48)	平成24年4月	中国語 A 中国語 B 中国語演習	平成24年4月 担当者の変更(24)
兼任	講師	高 燕平	平成24年4月	中国語A 中国語B	兼任	講師	范 軍 (49)	平成24年4月	中国語A 中国語B	平成25年4月時間割縄成上のため 担当者の変更 (25)
		(58)		中国語演習	兼任	講師	高 燕平 (59)	平成25年4月	中国語演習	平成25年4月時間割縄成上のため 担当者の変更 (25)
					兼任	講師	高 燕平 (60)	平成26年4月	中国語A 中国語B 中国語演習	平成26年4月 担当科目の追加 (26)
兼任	講師	渡辺 修 (67)	平成25年4月	ドイツ語演習	兼任	講師	松崎 裕人 (49)	平成27年4月	ドイツ語演習	平成27年4月 担当者の変更 (27)
兼任	講師	植木 章三 (50)	平成24年4月	スポーツ実技 I スポーツ身体科学	兼任	講師	石川 祐佑 (30)	平成27年4月	スポーツ実技 I スポーツ身体科学	平成27年4月 担当者の変更 (27)
兼任	講師	松原 悟 (54)	平成24年4月	スポーツ実技 I スポーツ身体科学	兼担	講師	本田 春彦 (33)	平成24年4月	スポーツ実技 I スポーツ身体科学	平成24年4月
.	l	(94)	<u> </u>	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ll	1	(00)	<u> </u>		担当者の変更 (24)

		設置時	きの計画				変更	艾 状 況		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	講師	伊藤 常久 (40)	平成25年4月	健康論	兼担	講師	本田 春彦 (34)	平成25年4月	スポーツ実技 I スポーツ実技 I スポーツ実技 I 健康論 現代科学統論B	平成25年4月 時間割額成上のため 担当科目の追加 (25)
		(40)			兼担	講師	本田 春彦 (35)	平成26年4月	スポーツ実技 I スポーツ身体科学 スポーツ実技 I 健康論	平成26年4月 時間割縄成上のため 担当科目の変更 (26)
兼任	講師	池田 晃一 (50)	平成24年4月	スポーツ実技 I スポーツ身体科学						平成25年4月
兼任	講師	犬塚 剛 (44)	平成25年4月	スポーツ実技Ⅱ	兼任	講師	池田 晃一 (51)	平成25年4月	スポーツ実技 I スポーツ身体科学 スポーツ実技 II	時間割縄成上のため 担当者の変更(25)
兼任	講師	土井 豊 (56)	平成25年4月	スポーツ実技Ⅱ						
					兼任	講師	犬塚 剛 (46)	平成26年4月	スポーツ実技Ⅱ	教育課程の充実を図るため 追加 (26)
					兼任	講師	門間 陽樹 (30)	平成26年4月	スポーツ実技Ⅱ	教育課程の充実を図るため 追加 (26)
					兼任	講師	伊藤 常久 (43)	平成27年4月	スポーツ実技II 健康論	教育課程の充実を図るため 追加 (27)
兼任	講師	河西 敏幸 (44)	平成25年4月	健康論	兼任	講師	河西 敏幸 (45)	平成25年4月	スポーツ実技Ⅱ	平成25年4月 時間割縄成上のため 担当科目の変更 (25)

- (注)・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に 所属している場合は、〈〇〇学部 $\Delta\Delta$ 学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 - 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「<u>設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢</u>を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢 を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合 (「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は, 変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、 及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画 変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任 教員として授業等を<u>担当することは出来ません</u>。
 - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定 の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度 () 書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

ĺ		設置	時の	計画			変 夏	更 状	況		年 齢	構成	年齢構成(前	(年度の状況)
	教 授	准教授	講師	助教	計	教 授	准教授	講師	助教	計	定年規定の 定める定年 年齢	定年を延長 している教 員数	定年規定の定 める定年年齢	
	6	7	0	0	13	6	5	2	1	14	65	0	65	0
	(6)	(7)	(0)	(0)	(13)	[0]	[△2]	[2]	[1]	[1]	歳	名	歳	名

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、 「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画 との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
 - はい、概念すると、たートーのの表現をある場合には、概念というとし、「定年を延長している教員教」には合算した数を記入してください。 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「一」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	准教授	小濱 暁子	自己都合による退職
2			
3			

- (注)・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任(就任辞退を含む)等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見:

・ 小濱准教授は、家族別離を解消することに伴う退職である。小濱准教授の担当科目を専任教員1名の補充で対処することとした。また、小濱 准教授を直接の指導教員とする学生は本年度はおらず、実際上の支障はない。

学生への周知方法:

各学年のオリエンテーション時、およびシラバス上にて全学生に周知している。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	等	履行状況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成24年)	該当なし	留意事項		
設置計画履行状況調查時 (平成27年3月)	工学部環境エネルギー 学科の定員充足率が 0.7倍未満となってい ることから、学生の確 保に努めるとともに、 入学定員の見直しにつ いて検討すること。	改善意見	広報戦略の充実により、平成27年度入学試験3/19時点での入学手続者が79名(定員100名)と昨年度同時点の71名より11.2%増と改善領向がみられるが、定員を充足するまでには至ってない。平成26年8月には、「学部・学科の改組・再編検討のためのプロジェクトけている。検討を開始している。	本学科の特徴あるカリキュ ラム、就職内定状況県内 就職先等の魅力を、 が東北地区の高高で が東北地区の、 高で技 が で が に Webを通して 提供する 機会を増やしに で 者 部 は が 入 学 子 の に が に と の に が に と が に と が に と が に と が に と が に と が に と が に と り に り と り に り に り に り と り に り に り に

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項(<u>学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
 - 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 環境エネルギー学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ・平成18年4月1日よりFD委員会を設置した。また、FD委員会の中に委員長と幹事委員10名(平成26年度は12名) からなるFD企画部会および委員長と幹事委員6名からなるFD推進部会を設置し、FD活動の推進を図っている。
 - ・FD委員会規程は別紙1のとおり。
- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 - ・平成26年度FD委員会: 7回開催(27名中、24名以上出席)
 - ・平成26年度FD企画部会: 8回開催(12名中、9名以上出席) ※ただし、第6回は7名以上の出席
- c 委員会の審議事項等
 - 「大学評価アンケート」について
 - 「大学院アンケート」について
 - ・「授業評価アンケート」の評価方法等について
 - 授業評価システムについて
 - ・教員表彰(教育分野)について
 - 教員表彰(研究・社会活動等分野)について
 - ・教育改善シンポジウムの開催について
 - ・授業参観の実施について
 - ・成績評価一覧について

② 実施状況

- a 実施内容
 - 新任教員説明会
 - 教員相互の授業参観
 - 授業研究懇話会(授業参観・意見交換会)
 - ・ 教育改善シンポジウム
 - ・ 大学評価アンケート
 - 大学院アンケート
 - ・ 授業評価アンケート

b 実施方法

- ・新任教員説明会については、平成27年4月3日に全新任教員を集め、本学の理念、教育方針、教務関係、学生関係、 事務関係等について、それぞれの代表者がガイダンスを行った。
- ・FD/SD教職員研修会については、全教職員を対象とし、平成26年12月11日に外部講師を招き「学部・学科再編について一文科省へのキーポイントー」の講演を開催した。
- ・授業参観については、平成26年11月4日~12月23日の期間、全科目の授業を対象として実施した。 参観者は、本学の「良い授業のための指針」を基にした意見等を授業担当者に伝え、授業の改善を図った。
- ・教育改善シンポジウムについては、全教員を対象とし、平成27年2月19日に「退学者の調査・要因分析と対策」、「授業方法改善の実例 アクティブラーニング ークリッカーを用いた授業(建築学科の取り組みについて)ー」、「大学評価アンケートの総括と授業評価アンケートの現状について」というテーマの講演を開催した。
- ・大学評価アンケートについては、全学生に対し行い、授業や学生生活、施設などに対する学生の意見や要望を集約し、今後の指導や施設改善等を行う際の資料として活用している。 また、結果については、本学ポータルサイトの掲示板に公表し学生に周知した。
- ・授業評価アンケートについては、各教員が担当授業の際に実施し、授業についての学生の意見を集め、より良い授業への改善に努めている。評価の低い科目については、担当教員に計画書を提出させて授業改善を促している。また、平成26年度後期から「学習時間」の設問を、より明確な時間で回答できるように変更した。なお、アンケートの自由記述への回答については、本学ポータルサイトの掲示板に公表し学生へのフィードバックを行った。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - ・新任教員説明会は、平成27年4月3日に実施した。新任教員5名が参加した。
 - ・教育改善シンポジウムについては、平成27年2月19日に実施し、教員72名が参加した。
 - ・大学評価アンケートについては、平成27年2月10日の成績発表時に全学生に対しマークカードを配布し、 その場で記入させて回収する方式で実施。ほぼ全員が提出した。
 - ・授業評価アンケートについては、前期・後期の成績発表までにWebで実施。専任・兼任含め、前期571科目、 後期541科目で実施した。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・授業アンケートに記載された要望等について、教員個々人が担当科目毎に回答すことにより、授業の改善に役立てている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - 実 施: 有
 - ・実施時期: 前期・後期の各期間中(年2回)
 - b 教員や学生への公開状況,方法等
 - ・アンケート結果は、科目担当教員に配付している。また、アンケートの自由記述に対する回答を本学ポータルサイトの掲示板に公表し、学生に公開している。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 - 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。 (記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
(別紙2のとおり)
② 自己点検・評価報告書
a 公表(予定)時期 ・平成25年7月公表(平成23年度自己点検・評価報告書) ・平成26年3月公表(平成25年度大学機関別認証評価 自己点検評価報告書)
b 公表方法 ・自己点検・評価報告書を刊行し、大学等(約100箇所)に配布。 ・大学ホームページ上に公開。
③ 認証評価を受ける計画 ・平成25年度に評価機関(公益財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受け、平成26年3月に「適合」の 認定を受けた。
(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。 (4) 情報公表に関する事項
〇 設置計画履行状況報告書
a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成24年6月1日)